



(有)いち文の中井康文さんは、

佐伯地域で市民の人にごみの出し方を伝える勉強会などを行っています。20代の頃、今の呉服屋を開く資金を作るために佐伯町のごみ焼却施設の管理を始め、それがきっかけで、ごみ処理に関わるようになりました。今年4月に閉鎖した佐伯クリーンセンターの運営など、佐伯地域で50年近くにわたりごみ処理、啓発に取り組んでいます。

分ける訳を楽しく学ぶ

「ごみ収集や焼却場の運営を

始めた頃、最終処分場のごみ処理費用の高さに驚き、分別を呼び掛けるようになり、その後、地域の女性会に呼ばれて分別の勉強会をするようになりました。勉強会では、分別表の紙を見ながらではなく、楽しく伝えるようにしています。『古く

うのか』など、分別の理由を理解してもらえよう楽しく話しています。その方が皆さんの記憶に残りやすいですし、皆さんの驚いた表情や笑顔を見られて私も楽しいからです。』

子どもに分別の心を育て

「さいき水まつりなどの地域のまつりではごみ係をして、地域の子どもに『ペットボトルはラベルをはがす。これだけで地球を救える、ウルトラマンと同じなんよ』と、注意をするのではなく、楽しく伝えていきます。子どもが家できちんと分別すれば、大人も正しく出しますよね。ごみの出し方次第で施設は傷み、税金を使って修理します。でも、分別の心を育て、皆さんにきちんとごみを出してもらうことは、お金を掛けずにできることです。私たちは、きれいな廿日市市、佐伯地域を残さなくてはいいけません。子ども、孫、その次の世代へと良いものを残して、役立つことをしないとけないと思います、この活動に取り組みんでいます」と、未来の子どもを思う、中井さんの思いを話してくれました。

なつた肌着やくつ下、資源として売れませんので全部燃やせるごみに出してくださいね(笑)』などと、冗談や笑いを交えて伝えていくうちにどんどん広がり、今でも自治会や女性会から声が掛ければ、集会所で勉強会を開いています。勉強会には分別に困るようなものが用意されており『ホースは30cm以内に切れば有料の大型ごみではなく燃やせるごみで出せますが、じゃあどうして燃やせるごみは30cm以内なのか』『何故びんはきれいに洗

うのか』など、分別の理由を理解してもらえよう楽しく話しています。その方が皆さんの記憶に残りやすいですし、皆さんの驚いた表情や笑顔を見られて私も楽しいからです。』

はつかいら人 vol.46 廿日市市で輝く人を紹介します

なか い やす ふみ

(有)いち文 中井 康文さん (津田)

編集後記

仕事柄、さまざまな分野で活躍されている人とお会いし、その姿勢に驚かされる事が多くあります。今回の特集でも、取材を受けてくださった方の熱意や人柄が伝わればと編集をしました。その方々を含め、ごみ処理施設の方や印刷会社の皆さん、担当課の職員には大変助けていただき、無事発行することができました。心から感謝しています。(並)

11月は眞野前市長の退任式および松本新市長の就任式があり、撮影などを担当しました。入庁してから初めて経験する市長の交代でしたが、カメラの設定に慌てたり移動の早さに着いていけなかったりで、感慨に浸る暇なく、あっという間に終わっていました。私もより一層、広報担当として迅速で正確な情報発信を心掛けたいと思います。(五)

人のうごき

前月比

| | | |
|-----|----------|-------|
| 総人口 | 117,160人 | (+62) |
| 男 | 56,418人 | (+51) |
| 女 | 60,742人 | (+11) |
| 世帯 | 52,261世帯 | (+52) |

(令和元年11月1日現在、外国人を含む)

電話での問い合わせが難しい人は 0829291059

目の不自由な人のための「広報はつかいら」テキスト版を音声読み上げのために「広報はつかいら」のウェブサイト、デザイン図書、ホームページに掲載しています。「広報はつかいら」のウェブサイト、デザイン図書、点訳本があります。問い合わせ 社会福祉協議会 02924

発行 廿日市市 〒738-8501 広島県廿日市市下平良一丁目11番1号 編集 経営企画部 経営政策課 広報統計グループ ホームページ htps://www.city.hatsukairachi.hiroshima.jp/フェイスブック htps://www.facebook.com/hatsukairachicity